

第39回「神奈川県環境行政懇談会」

(7月15日/産業貿易センタービル)

平成26年度神奈川県環境・エネルギー行政の進め方、方向性について、神奈川県環境農政局、産業労働局より説明頂き、意見交換した。

「地球温暖化対策の動向について」

地球温暖化の進展と影響、今後の予測と対策の必要性について、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)第5次報告書を基に説明された。

「PM2.5(微小粒子物質)等の大気汚染対策について」

PM2.5の発生源、性状、健康への影響、環境基準、神奈川県での取組み(監視体制、濃度の推移、高濃度予報等情報提供)と実績が説明された。また、SPM(浮遊粒子状物質)低減のためのディーゼル車運行規制、Nox低減のための県内主要道路での取組み、ガソリンベーパー対策等、関連の取組みも説明された。

「大気汚染防止法の改正について」

アスベスト飛散防止対策が強化され、アスベスト解体工事の届け出義務者が施行者から発注者に

変更になり、一方で受注者は、事前調査、説明、掲示、発注者への説明、が義務付けとなった事が説明された。また、立入り対象が拡大された事も説明された。

「かながわスマートエネルギー計画について」

「神奈川県再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例」制定に伴い、「かながわスマートエネルギー計画」が策定され、5つの基本政策に沿って施策が展開されることが説明された。

